

表町商店街活性化ラボ（連携先：岡山市表町商店街）

ラボの課題

表町商店街の活性化について、様々な観点から方策を検討し、企画を実施して効果を評価しました。本年度は12名の学生が3つのチームを構成し、独自性のある解決方法をそれぞれ提案して活性化に貢献できました。

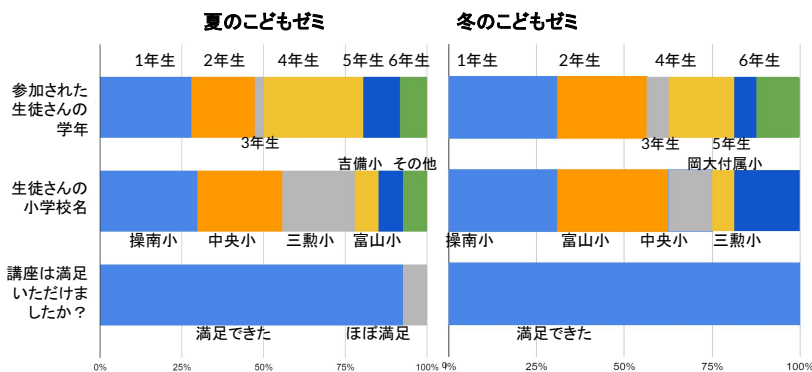
春学期の活動報告

- ① **こどもゼミ チーム**：8月6日,7日、12月17日,28日の4日間、近隣の小学生を集めて、表町商店街で「こどもゼミ」を開催しました。ものづくりの出し物の件数を増やしたところ、応募された方を抽選するほどの盛況となりました。
- ② **情報発信チーム**：表町商店街に興味をもていただくために、商店街の店舗情報を発信する動画をSNSサイトに投稿する取り組みを行い、閲覧数の動向を確認しました。特に中国向け配信では、閲覧数が2万件を超えました。さらに、理科大生に対してアンケート調査を実施し、SNS利用の実態を把握するとともに、表町商店街の印象を分析しました。
- ③ **新企画チーム**：活性化のための新規性の高い提案として、南北1kmの商店街への距離表示を提案しました。商店街の8ヶ所に距離表示を掲示する実験を行い、通行者に注目していただけることを確認しました。「ハレノワ」へのメインストリートとして多くの人に歩いていただきたいと思います。

今年度の成果

こどもゼミでは、多くの方々に来場いただき、終了後に飲食など商店街を活用いただくことができました。小学生を商店街に呼ぶ効果を確認でき、大学の社会貢献にもなりました。

情報発信チームは、動画の発信と並行して理科大生にアンケート調査を行いました。大学生がSNSで収集する情報について分析し、動画作成に役立つ知見を得ることができました。新企画チームの距離表示は、行動経済学を応用した「歩いてもらえる仕掛け」として評価され、山陽新聞、読売新聞に取り上げられました。



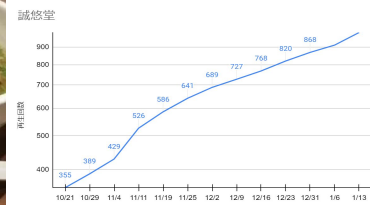
こどもゼミ参加者へのアンケート調査



「こどもゼミ」の開催



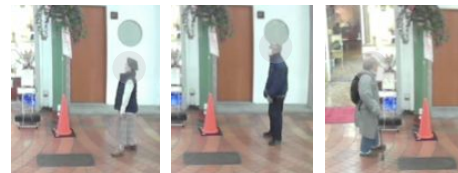
TikTokに投稿した動画と累計閲覧数推移



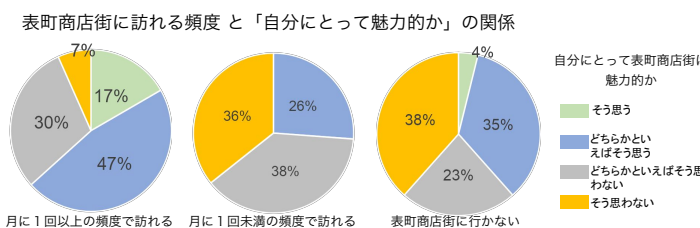
動画SNSサイトへの情報発信



1時間ほどの間の通行量732人に対して、12人[1.6%]が距離表示に気をとめた



表町商店街の距離表示



岡山理科大学学生に対するアンケート調査

担当教員：水谷 直樹
塚常 健太
矢部 久智

ポスター制作：① 片山 博貴, 城戸 拓馬, 滝本 直輝, 難波 楓
② 黄 鴻羽, 佐々木 謙太, 新居 尚之, 三並 直樹, 繆 博帆
③ 大口 智貴, 黒藪 健太, 森山 海渡